

指導教官:杉田俊明

夏季集中特別講座

勉強会チーム:佐藤、余



今勉強会の流れ

1、多国籍企業の形成

2、国際的精神から多国籍精神への発展

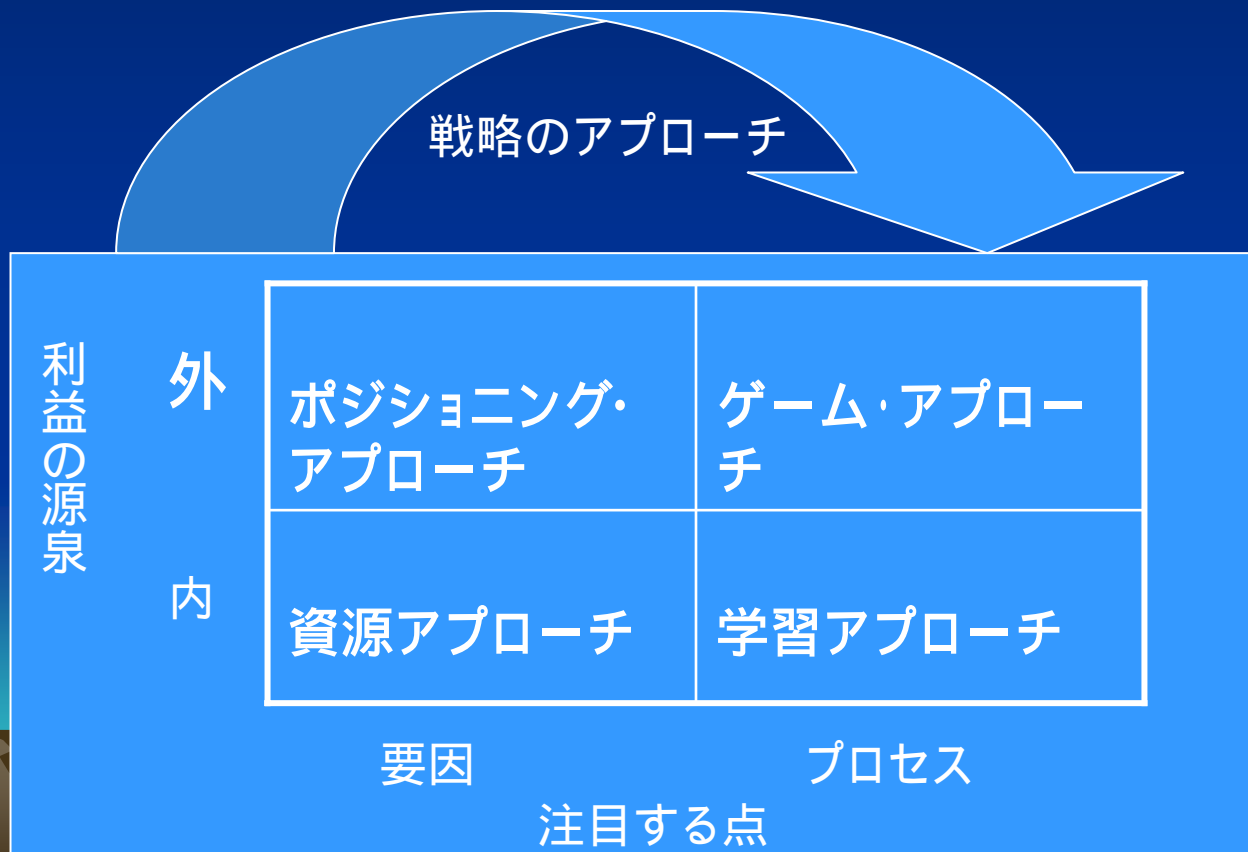
3、提携による競争優位の維持

4、国際的な学習による競争優位の戦略

国際競争優位戦略の方法

企業戦略における2軸の切り口:

- 1、企業の「内」と「外」の区別:利益の源泉は企業の中にあるか、外にあるか
- 2、「要因」と「プロセス」の分類:whatなのかhowなのか



、ポジショニングアプローチ 「外」「要因」

目標達成のために都合のいい環境に身をおくこと(position)が重要な戦略

、資源アプローチ「中」「要因」

成功している企業は、内部に優れた能力(資源)を蓄積している企業

、ゲームアプローチ 「外」「プロセス」

「おいしい」状況を見つけるだけでなく、自らの行動で作り出す(ゲーム)こと

、学習アプローチ 「中」「プロセス」

企業の資源となるものを蓄積していく(学習)の大きな戦略

日本企業の持つ戦略的バイアス

組織要因による戦略アプローチの相対的重要度の変化

日本企業の「内」へのバイアス 欧米をキャッチアップするために内部資源を充実させることに傾倒 「いいものを作る」

「外」の軽視：組織構造の分析を軽視し、利益獲得の機会を脱して

(提供する価値とコストの不均衡を軽視)

日本企業の戦略的バイアスと克服

利益の源泉

外

、ポジショニング・
アプローチ

、ゲーム・
アプローチ

内

、資源アプローチ

、学習アプローチ

要因

プロセス

注目する点

「安くつよいものを作る」からの脱却
国際経営の上達による競争優位の戦略